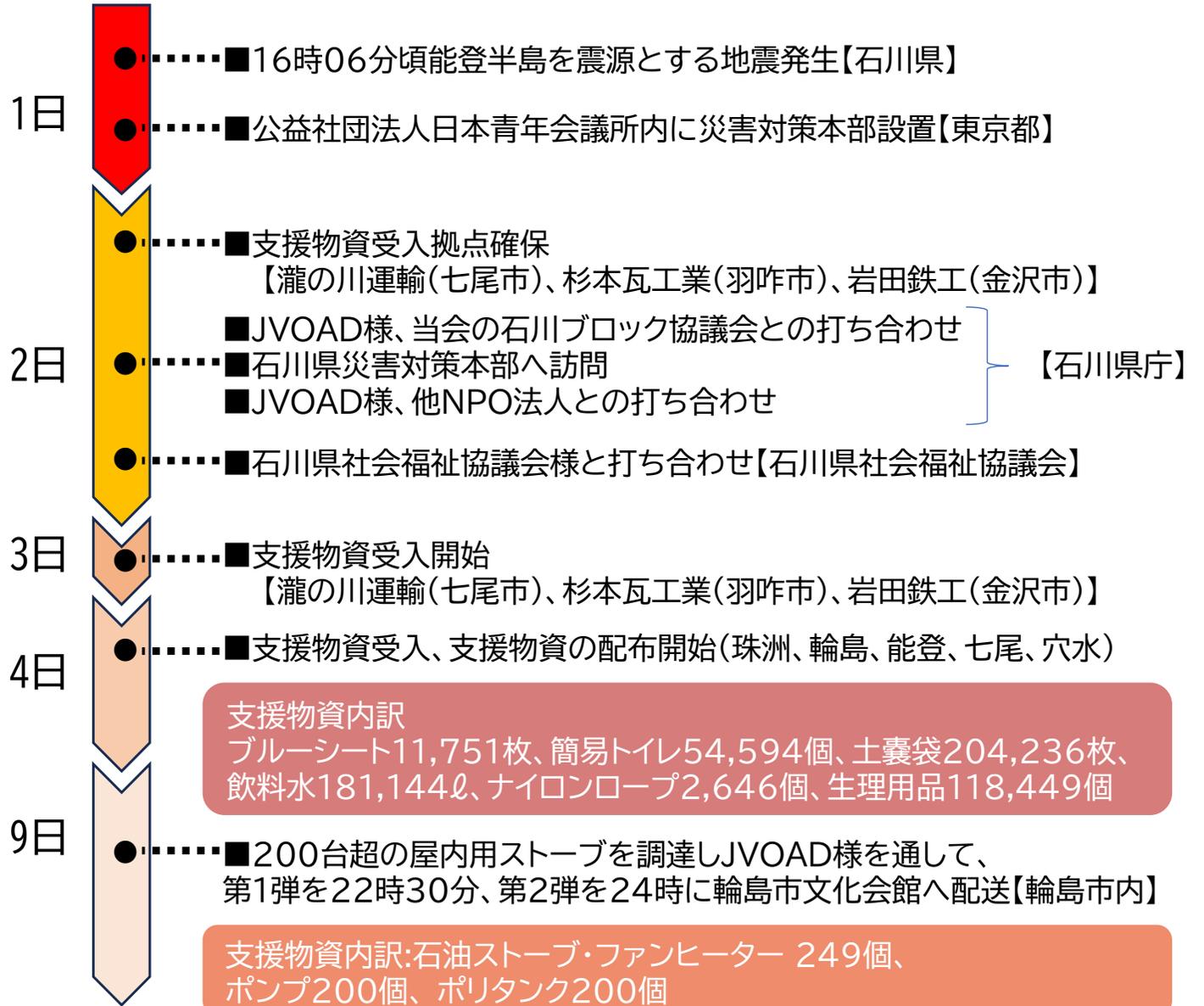


第10回 防災推進国民会議
令和6年能登半島地震に対する
取り組みについて

公益社団法人日本青年会議所
第73代会頭 小西 毅



2024年01月





1月27日より、社会福祉協議会と連携をし、七尾市にてボランティアセンターの運営を開始しました。全国から集まったJCメンバーと一般ボランティアのグループを編成し、瓦礫の撤去や運搬を行いました。



当時の課題



社会福祉協議会のスタッフの皆様もボランティアセンターの運営に関する経験が少なく、一般ボランティアの方の班分けや、家財搬出現場に送迎することが困難な状況であったことから、JCメンバーを連日30名近く動員し、班分け作業や家財搬出現場への送迎などの運営のサポートを行いました



インフラ整備



JCのネットワークを活用して、ハイエース7台、軽トラック5台を石川県内から調達し、最終的に七尾市ボランティアセンターへつなげ、継続的に運用が可能となりました。



輪島市ボランティアセンターでは、当初テント2張で運営していました。海辺で強風にあおられ飛ばされそうな状況でした。1月、2月の寒さもあり、日本JCのネットワークを活用してコンテナハウスを3台無償でレンタルしました。



参加学生募集

共に築く希望の灯り
高校生による被災地支援

実施期間 2024年8月3日(土)~8月5日(月)

参加対象 被災地支援に関心のある全国の高校生

募集期間 2024年6月23日(日)~2024年6月30日(日)

費用 登録料: 40,000円(予定)
※宿泊費、食事代含む。別途、現地までの渡航費は自己負担となります

実施場所 石川県能登半島

ネクストリーダーによる
被災地支援復興プロジェクト

本事業は、能登の震災からの復興支援と被災地への関心を広めることに加えて、全国の高校生と石川県の高校生が集まり、能登の復興状況を学び、支援への意識を高める機会を提供することを目的に開催しました。全国から集まった高校生たちは、被災地視察や意見交換を行い、震災に対する理解を深め、能登の未来に向けた具体的な復興プランを考案しました。プログラムの最後には、復興支援への願いを込めた花火を打ち上げました。これは震災を経験した地元住民と高校生たちが、未来への希望と団結の象徴として、能登の夜空に彩りを添えることができました。花火の打ち上げは、復興支援の思いを広めるだけでなく、参加者全員にとって心に残る締めくくりとなり、支援活動の大切さを再確認する場となりました。





災害対策初動対応マニュアルのブラッシュアップ

